

Smart
Tennis Sensor
(スマートテニスセンサー)
リファレンスガイド

SSE-TN1S

4-559-345-01(1)



使い始めるには

スタートガイド/
ヘルプガイドに
アクセス！



http://rd1.sony.net/sports/tn1/ja_sg/

スタートガイドで説明していること

- 充電する
- アタッチメントをラケットに取り付ける
- アプリをダウンロードする

アプリで設定すること

- アプリで初期設定をする
- アプリにラケットやプレーヤー情報を登録する

設定完了！

新しいテニス体験を楽しもう

詳しい使いかたや注意事項については、
ヘルプガイド(Web取扱説明書)をご覧ください。

保証書

引取修理

品名	Smart Tennis Sensor
型名	SSE-TN1
お買上げ日	平成・西暦 年 月 日

本書は、本書記載内容(下記記載)で無料修理を行うことをお約束するものです。お買上げの日から下記期間中に故障が発生した場合は、お客様欄にご記入の上、修理をお申付けください。

販売店

お問合せ先：修理相談窓口

フリーダイヤル：0120-222-330 (FAX 0120-333-389)

携帯電話・PHS・一部のIP電話からは、050-3754-9599

ホームページ：<http://www.sony.jp/support/>

ソニー株式会社 東京都港区港南1-7-1 ☎108-0075

保証期間 お買上げの日から 1年

お客様住所 お名前	電話	- - 様
--------------	----	-------

無料修理規定

1. 正常な使用状態で保証期間内に製品(ハードウェア)が故障した場合には、本書に従い無料修理をさせていただきます。本書記載の修理対応の種別(出張修理、持込修理、引取修理)をご確認の上、以下の要領でご依頼および本書(再発行しませんので、大切に保管してください)の提示・提出をお願いいたします。なお、受付窓口の種類は、(1)お買上げのお店、(2)お近くのソニーサービスステーション、(3)本書に記載の修理相談窓口の3種類です。

種別	受付窓口	保証書の提示・提出	注意事項
出張修理	(1)(2)(3)	出張修理担当者が訪問した際に提示	※1
持込修理	(1)(2)	持参した製品の修理依頼の際に提示	※2
引取修理	(3)	製品の引取時に指定業者へ提出	

※1 離島及び離島に準ずる遠隔地への出張修理となる場合、出張費用(実費)を申し受けます。

※2 (1)(2)へのご依頼が難しい場合は、(3)にご相談ください。

2. お客様のご要望により、出張修理の種別について引取修理を、持込修理の種別について出張修理・引取修理を、引取修理の種別について出張修理を行なう場合は、別途所定の料金を申し受けます。

3. 保証期間内の故障でも次の場合には有料となります。

(1)本書のご提示がない場合(2)本書にお買上げ日および販売店の記載がない場合または本書の記載を書き換えた場合(3)保証期間中に発生した故障について、保証期間終了後に修理依頼された場合(4)使用上の誤り(取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意書きに従った正常な使用をしなかつた場合を含む)による故障・損傷(5)他の機器から受けた障害または不当な修理、改造による故障・損傷(6)お買上げ後の移設・輸送、落下などによる故障・損傷(7)火災、地震、風水害、落雷その他の天災地変、公害、塩害、異常電圧などによる故障・損傷(8)業務用など一般家庭用以外での使用による故障・損傷(9)消耗・摩耗した部品の交換、汚損した部分の交換

4. 故障の状況その他の事情により、修理に代えて製品交換をする場合がありますのでご了承ください。

5. 修理に際して再生部品・代替部品を使用する場合があります。また、修理により交換した部品は弊社が任意に回収のうえ適切に処理・処分させていただきます。

6. 本書に基づく無料修理(製品交換を含む)後の製品については、最初のご購入時の保証期間が適用されます。

7. 故障によりお買上げの製品を使用できなかったことによる損害については補償いたしません。

8. 記録媒体を搭載または使用する製品の場合、故障の際または修理・交換により記録内容が消失等する場合がありますが、記録内容についての補償はいたしません。

9. 本書は日本国内でのみ有効です。(This warranty is valid only in Japan.)

修理メモ

* 本書はお客様の法律上の権利を制限するものではありません。

* 保証期間後の修理については、取扱説明書等をご覧ください。 T21-1

付属品を確かめる



SSE-TN1
センサー本体



アタッチメント(2)



ケーブル



ケーブルキャップ



マイクロUSBケーブル



取りはずしツール

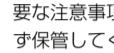


キャリングポーチ



リファレンスガイド(本紙)

安全に関するお知らせ



電気製品は、安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。このリファレンスガイドには、事故を防ぐための重要な注意事項を示しています。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。このリファレンスガイドおよびスタートガイド(Web)と、製品の取り扱いかたを示したヘルプガイド(Web取扱説明書)をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。



安全のために

ソニー製品は安全に充分配慮して設計されています。しかし、電気製品はすべて、まちがった使いかたをすると、火災や感電などにより人身事故になることがあります。事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。

• 安全のための注意事項を守る

この「安全のために」の注意事項をよくお読みください。

• 定期的に点検する

1年に1度は、ほこりがたまっていないか、故障したまま使用していないか、などを点検してください。

• 故障したら使わない

動作がおかしくなったり、破損しているのに気がついたら、変な音・においがしたり、煙が出たりしたら、すぐに使用を中止してソニーの相談窓口またはソニーサービス窓口に修理を依頼してください。

警告表示の意味

取扱説明書および製品では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。



この表示の注意事項を守らないと、火災・感電・漏液・発熱・破裂などにより死亡や大けがなどの人身事故が生じます。



この表示の注意事項を守らないと、火災・感電などにより死亡や大けがなどの人身事故の原因となります。



この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり周辺の家財に損害を与えることがあります。

注意を促す記号



注意



火災



感電

行為を禁止する記号



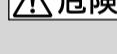
禁止



分解禁止



接触禁止



下記の注意事項を守らないと**火災・感電・発熱・発火**により**死亡や大けが**の原因となります。

火災



感電



付属以外のクレードルやマイクロUSBケーブルを使わない

充電するときは、必ず付属のクレードルとマイクロUSBケーブルを使用してください。破裂や電池の液漏れ、過熱などにより、火災やけが、周囲の汚損の原因となります。



火の中に入れない

禁止



分解しない

故障や感電の原因となります。充電式電池の交換、内部の点検および修理はソニーの相談窓口またはソニーサービス窓口にご依頼ください。



乳幼児の手の届かないところに置く

小さな部品は飲み込む恐れがあるので、乳幼児の手の届くところに置かないでください。万が一飲み込んだ場合は、窒息や胃などへの障害の原因になるため、ただちに医師にご相談ください。



火のそばや直射日光の当たるところ・炎天下の車中など、高温の場所で充電や、保管・放置しない

禁止



センサー本体やクレードルが濡れた状態で充電しない

同梱のクレードルは防水仕様ではありません。充電をする前にセンサー本体やクレードルが濡れていないことを確認してください。水滴が付着している場合には水滴を確実にふき取り、水分が完全になくなるまで常温で放置して乾燥させたのち、充電を開始してください。濡れた手で、またはセンサー本体やクレードルが濡れた状態で充電すると、感電、発煙発火等の恐れがあり大変危険ですので、絶対にしないでください。



下記の注意を守らないと、**火災・発熱・発火・感電**により**やけどや大けが**の原因となります。



センサー本体やケーブルの内部に水や異物を入れない

水や異物が入ると火災や感電の原因になります。万一、水没したり異物が入ったときは、すぐに使用を中止し、ソニーサービス窓口にご相談ください。



先端のとがった棒でセンサー本体やケーブルを突かない



下記の注意を守らないと**けが**をしたり周辺の**家財**に**損害**

を与えたりすることがあります。



本機をズボンなどの後のポケットに入れて座らない
变形や故障の原因となることがあります。



本機を投げつけない



センサー本体を取り付けたラケットで地面などをたたかない



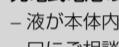
アタッチメントを指定のラケット以外で使用しない



口に入れたり飲み込んだりしない

電池についての安全上のご注意

液漏れ・破裂・発熱・発火・誤飲による大けがや失明を避けるため、下記の注意事項を必ずお守りください。



充電式電池が液漏れしたとき

充電式電池の液が漏れたときは液をさわらない

- 液が本体内部に残ることがあるため、ソニーの相談窓口またはソニーサービス窓口にご相談ください。
- 液が目に入ったときは、失明の原因になることがあるので目をこすらず、すぐに水道水などのきれいな水で充分洗い、ただちに医師の治療を受けてください。
- 液が身体や衣服についたときも、やけどやけがの原因になるので、すぐにきれいな水で洗い流し、皮膚に炎症やけがの症状があるときには医師に相談してください。

本機を廃棄するときのご注意



本機に内蔵されている充電式電池はリサイクルできます。この充電式電池の取りはずしはお客様自身では行わず、「ソニーの相談窓口」にご相談ください。

Li-ion

BLUETOOTH®機器について

機器認定について

本機は、電波法に基づく小電力データ通信システムの無線設備として、認証を受けています。従って、本機を使用するときに無線局の免許は必要ありません。

ただし、以下の事項を行うと法律に罰せられることがあります。

- 本機を分解／改造すること
- 本機に記載の証明マークを消すこと

周波数について

本機は2.4 GHz帯の2.4000 GHzから2.4835 GHzまで使用できますが、他の無線機器も同じ周波数を使っていることがあります。他の無線機器との電波干渉を防止するため、下記事項に注意してご使用ください。

本機の使用上の注意事項

本機の使用周波数は2.4 GHz帯です。この周波数帯では電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか、他の同種無線局、工場の製造ライン等で使用される免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を要しない特定の小電力無線局、アマチュア無線局等(以下「他の無線局」と略す)が運用されています。

1. 本機を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。
2. 万一、本機と「他の無線局」との間に電波干渉が発生した場合には、速やかに本機の使用場所を変えるか、または機器の運用を停止(電波の発射を停止)してください。
3. 不明な点その他お困りのことが起きたときは、ソニーの相談窓口までお問い合わせください。

2.4 F H 1

この無線機器は2.4 GHz帯を使用します。変調方式としてFH-SS変調方式を採用し、与干渉距離は10 mです。

BLUETOOTHとそのロゴマークは、Bluetooth SIG, Inc.の商標で、ソニーはライセンスに基づき使用しています。その他、本書に記載されているシステム名、製品名は、一般に各開発メーカーの登録商標あるいは商標です。

使用上のご注意

BLUETOOTH通信について

- BLUETOOTH通信は以下の状況において、通信感度に影響を及ぼすことがあります。
 - 本機とBLUETOOTH機器の間に人体や金属、壁などの障害物がある場合
 - 無線LANが構築されている場所や、電子レンジを使用中の周辺、その他電磁波が発生している場所など
- BLUETOOTH機器と無線LAN(IEEE802.11b/g)は同一周波数帯(2.4 GHz)を使用するため、無線LANを搭載した機器の近辺で使用すると、電波干渉が発生し、通信速度の低下、雑音や接続不能の原因になる場合があります。この場合、次の対策を行ってください。
 - 本機とBLUETOOTH機器を接続するときは、無線LANから10 m以上離れたところで行う。
 - 10 m以内で使用する場合は、無線LANの電源を切る。
 - 本機とBLUETOOTH機器をできるだけ近付ける。
- BLUETOOTH機器が発生する電波は、電子医療機器などの動作に影響を与える可能性があります。場合によっては事故を発生させる原因になりますので、次の場所では本機およびBLUETOOTH機器の電源を切ってください。
 - 病院内／電車内／航空機内／ガソリンスタンドなど引火性ガスの発生する場所
 - 自動ドアや火災報知機の近く
- 本機は、BLUETOOTH無線技術を使用した通信時のセキュリティとして、BLUETOOTH標準規格に準拠したセキュリティ機能に対応していますが、設定内容などによってセキュリティが充分でない場合があります。BLUETOOTH通信を行う際はご注意ください。
- BLUETOOTH通信時に情報の漏洩が発生しましても、当社は一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 本機はすべてのBLUETOOTH機器とのBLUETOOTH接続を保証するものではありません。
 - 接続するBLUETOOTH機器は、Bluetooth SIGの定めるBLUETOOTH標準規格に適合し、認証を取得している必要があります。
 - 接続する機器が上記BLUETOOTH標準規格に適合していても、機器の特性や仕様によっては、接続できない、操作方法や表示・動作が異なるなどの現象が発生する場合があります。
- 接続する機器によっては、通信ができるようになるまで時間がかかることがあります。

その他のご注意

- 本機は精密機器ですので、強い衝撃を与えたとき落下させないでください。
- センサー本体を取り付けるときは、必ず付属の専用アタッチメントをお使いください。
- 本機は国内専用です。
- 湿気やほこり、油煙、湯気の多い場所、直射日光の当たる場所や停車中の車内などには置かないでください。故障の原因となります。
- 水につけて洗わないでください。故障や早期劣化の原因となるおそれがあります。
- 本機を長期間使わないときでも、半年ごとに充電してください。

センサーの主な仕様

通信方法	BLUETOOTH標準規格Ver.3.0	使用温度	-5 °C～50 °C
出力	BLUETOOTH標準規格Power Class 2	充電温度	0 °C～40 °C
最大通信距離	見通し10 m以上	外形寸法	Φ31.3 mm 高さ17.6 mm
使用周波数帯域	2.4 GHz帯(2.4000 GHz～2.4835 GHz)	質量	約8 g
変調方式	FHSS	本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。	
防塵・防水	IP65相当		

保証書とアフターサービス

保証書

所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。

アフターサービス

調子が悪いときはまずチェックを

このリファレンスガイドまたは、ヘルプガイド(Web取扱説明書)をもう一度ご覧になってお調べください。

それでも具合の悪いときは

ソニーの相談窓口にご相談ください。

保証期間中の修理は

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は

修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。

部品の保有期間について

当社ではSmart Tennis Sensorの補修用性能部品(製品の機能を維持するために必要な部品)を、製造打ち切り後3年間保有しています。ただし、故障の状況その他の事情により、修理に代えて製品交換をする場合がありますのでご了承ください。

よくあるお問い合わせ、窓口受付時間などはホームページをご覧ください

<http://www.sony.jp/support/smarttennissensor/>

使い方のご相談(メールでのお問い合わせ)

<http://www.sony.jp/r/mail/>

修理のご相談

<http://www.sony.jp/support/smarttennissensor/repair/>

フリーダイヤル:0120-222-330

携帯電話・PHS・一部のIP電話:050-3754-9599

FAX:0120-333-389

ソニー株式会社 〒108-0075 東京都港区港南1-7-1